

平成31年度 行政評価事業別シート

	実計対象	<input checked="" type="checkbox"/>	評価対象	<input checked="" type="checkbox"/>	新規	<input type="checkbox"/>	完了事業	<input type="checkbox"/>	ゼロ予算事業	<input type="checkbox"/>	担当者	富沢文洋
	全体計画						経費区分		実施計画事業費		内線	3516
事務事業名	4195 水路改修事業											
所 属	200100 まちづくり推進部・道路河川課											
施 策	05012100 農業の活性化											
予算科目	会計	01 一般会計										
	科目	060201 農林水産業費・農地費・土地改良事業費										
	事業	030000 水路改修事業										
事業目的						事業概要・効果						
水田から果樹への転換が進み、果樹の根腐れ防止のため排水の悪い水路の改良を求める陳情や降雨時の浸水地域予防の陳情がきている。このため、水路改修により農業生産基盤の向上と民生の安定を図る。						老朽水路の更新により漏水冠水を改善する。 また、近年のゲリラ豪雨による増水、氾濫等を改善する。						

PLAN-DO

年度実績及び予定

平成27年度 実績	平成28年度 実績
春木町水路改修工事ほか11件 主要施策成果説明書参照	野辺町水路改修工事ほか13件 主要施策成果説明書参照
平成29年度 実績	平成30年度 実績
市道亀倉米子線水路改良工事ほか7件 主要施策成果説明書参照	仁礼町、下八町側溝改修
平成31年度 予定	令和2年度 予定
仁礼町、下八町・小河原町側溝改修	仁礼町、下八町・小河原町側溝改修

指標名	無し					
算式						単位
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和 2年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						
指標名						
算式						単位
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和 2年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						
指標名						
算式						単位
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和 2年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						

事業費

(単位：千円)

		平成30年度 決 算	平成31年度 予 算
事業費		7,647	7,000
特定財源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	0	0
	地方債	0	0
	その他	0	0
一般財源		7,647	7,000
人員数(人)	正規職員	0.6	0.2
	嘱託職員	0.0	0.0
	臨時職員	0.0	0.0
人員コスト	正規職員	4,290.0	1,430.0
	嘱託職員	0.0	0.0
	臨時職員	0.0	0.0
	計	4,290.0	1,430.0
市民一人当たりの経費		0.2	0.2
総額		11,937.0	8,430.0

(単位：千円)

平成30年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	0	
11節 需用費	0	
13節 委託費	2,938	測量委託業務費2,938
15節 工事請負費	4,709	改修・修繕工事費4,709
19節 負担金補助及び交付金	0	
その他	0	

(単位：千円)

平成31年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	0	
11節 需用費	0	
13節 委託費	1,000	測量委託業務費1,000
15節 工事請負費	6,000	改修・修繕工事費6,000
19節 負担金補助及び交付金	0	
その他	0	

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか 行政内部の管理運営上必要な事業であるか 市が主体となり実施すべき事業か 法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか 目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか 	高い
評価コメント	近年のゲリラ豪雨等による側溝等の増水、氾濫の改善が図られる。	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 事業の成果は上がっているか 目標に対する達成度は十分か 市民生活上の課題解決に貢献しているか 行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか 事業の目的が達成できるような事業内容になっているか 	有効
評価コメント	地元の要望により、緊急性・必要性を考慮し、優先順位により改善。	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか 効率性向上に努めているか 使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか 	やや向上
評価コメント	現地調査した上で、効率の良く又より経済的な整備に努める。	

振り返り（決算年度の取組み課題）

地元からの要望が多く、現場をよく精査した上で、緊急性の高いところから適正に改修を進めている。

ACTION

1次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
-----------	------------

総合評価コメント

地元からの修繕・改修要望が非常に多いことから、現場状況を確認、優先順位を決め計画的に実施する。

2次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
-----------	------------

2次評価コメント

地域からの要望が多い事業であり、今後も優先順位をつけ、計画的に整備を進める必要がある。

外部評価

次年度以降の方向性	
-----------	--

外部評価コメント

--